

独立行政法人国際協力機構 (JICA) の研修員がいの町の森林・林業などを視察

7月11日、ケニア共和国森林公社などの職員6名が国際協力機構 (JICA) によるプロジェクトの一環でいの町を訪れました。ケニア共和国では、温暖化が進む中、人口の増加とともに森林の減少が続いており、乾燥に強く生産性の高い郷土樹種による森林づくりを進めるための取組をJICAとともに進めています。

当日は、梅雨まつただ中のあいにくの天気ではありません



たが、研修生の皆さんは、神谷小中学校校庭の町指定文化財「神谷の白花センダン」、林業事業体の木材集積所や森林施業地など、滞在予定時間を大幅にオーバーするほど熱心に視察していました。特に、森林施業地では、高性能林業機械が木材を採材する様子や二十歳前後の若い林業者が活き活きと作業していることにとっても関心を持ったよう

で、たくさんの質問をしていました。また、紙の博物館では、紙漉き体験に挑戦するなどの町の歴史と伝統にも触れていただきました。



第66回社会を明るくする運動について

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい地域社会を築くための全国的な運動で、7月を強調月間としています。

▼行動目標

- ・犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くための取組を進めよう
- ・犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支えよう

▼重点事項

- ・出所者などの事情を理解した上で雇用する企業の数を増やすこと
- ・帰るべき場所がないまま、刑務所から社会に戻る人の数を減らすこと
- ・薬物依存からの回復と社会復帰を長期的に支える地域の環境を作ること

関係諸団体の協力、参加により、7月7日に内閣総理大臣のメッセージ伝達式と広報車による啓発パレード、7月

21日伊野南小学校サンシャインズ音楽隊の皆さんの先導による徒歩啓発パレードなどを行いました。

また、期間中、すこやかセンター伊野のロビーで、伊野小学校と枝川小学校の皆さんによる啓発絵画を展示しました。



ました。

高知県中央西土木事務所では、このような活動を行うことで、危機管理の啓発を図り、自助・共助について考えるきっかけを提供しています。



ました。

ニュース
防災学習の出前授業が行われました
6月17日に伊野小学校で、高知県職員による出前授業が行われました。治水対策や南海トラフ地震などの防災学習について学んだ後、降雨体験装置・土石流体感3Dシアターによる疑似体験を行い、自然災害に対する理解を深め

